

# 2023年度退職者歡送会を 4年ぶりに開催

## 退職おめでとうございます

2月24日(土)、SKホールにおいて、新型コロナウイルス感染症の拡大により自粛していた退職者歡送会を2020年2月に開催以来4年ぶりに開催しました。この間、開催されなかった4年間に定年退職された方・完全退職者の6名を含む27名の参加で行われました。

坂部副中央執行委員長の司会で始まり、主催者を代表して多田中央執行委員長より、長年にわたり清掃事業と労働組合運動でご尽力された諸先輩方に労いと今後の活躍を祈願しての言葉が述べられました。



▲みんなで記念撮影

歓談の際には、退職者一人一人から長年勤めあげてきた思い出と今後の抱負をお話いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。また、退職者会の戸枝事務局長からは「是非、退職者会に加入するよう」との呼びかけがありました。

次年度以降も、退職者歡送会を開催することを考えております。来年は61歳の定年退職と時代は変わりますが、東京清掃を支持していただいた方々をしっかりと送り出したいので、各支部からのご参加をお待ちしております。

(栗澤 紀和)



### 退職を迎えられる組合員のみなさんへ

長年に亘り、清掃現場でご奮闘されてきたみなさんに敬意を表するとともに感謝申し上げます。

清掃事業が区に移管されて20年以上が経過し、各区一組における清掃事業も大きく様変わりしてきました。資源化の取り組みやふれあい指導、戸別訪問収集等、今の時代に求められる清掃事業を築いてこられたのも、みなさんのおかげと感謝しております。

区移管闘争という大きな闘争を乗り越え、各区において支部を立ち上げ、各区交渉の土台を作っていただきました。また、阪神淡路大震災や東日本大震災、その他にも多くの自然災害に対する支援活動も忘れられない取り組みとなっているのではないのでしょうか。定年を目前に控えた時期での新型コロナウイルス感染症の拡大は、精神的にも肉体的にも大変ご苦労されたことと思います。数え上げればきりがありませんが、みなさんの思い出が、みなさんの胸の中にあるのだらうと思います。本当にありがとうございました。

ここで、これからのこととして、東京清掃労働組合「退職者会」のご紹介をさせていただきます。職場時代に形成した人間関係も、今後の人生において重要です。退職者会は、そのような仲間や新たな人間関係の形成、同世代のみなさんとの交流、様々な課題の学習など、楽しい企画を中心に活動されています。是非ともご入会いただき、みなさんご参加いただければと思います。

最後に、健康には十分ご留意され、いつまでもお元気で、それぞれの場所で益々活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

### ▲委員長からのお祝いメッセージ

2024年2月24日  
東京清掃労働組合 中央執行委員長  
多田 修一郎



## 組織の強化・拡大に向けた 取り組みの前進を 自治労東京都本部第73回定期大会に参加

3月9日(土)に連合会館にて、自治労東京都本部第73回定期大会が開催されました。東京清掃からは役員・代議員として11名が参加しました。

都本部を代表して松村中央執行委員長より、能登半島地震の状況や被災地支援、春闘情勢、組織強化や政治の課題について触れながら、「職場のルールは私たちが変えられる」と労働組合がしっかりと取り組む意義についてご挨拶がありました。



▲あいさつする松村委員長

来賓挨拶では、自治労本部・石上中央執行委員長をはじめ、駆けつけた多くの方々からそれぞれの立場での現状と課題を含めた激励のご挨拶がありました。

一般経過に対する質疑では、地協のあり方や共済制度に関する発言があり、今後の組織運営に向けた重要な課題を共有しました。

篠崎副中央執行委員長より2024年度運動方針(案)、江森副中央執行委員長より組織の強化・拡大に向けた取り組み方針、須崎書記次長より予算(案)がそれぞれ提案され、10名の代議員より質問・意見・要望があり、執行部の丁寧な答弁の後、賛成多数で可決されました。

大会の中では役員の担い手育成の必要性について発言があり、発言後の大きな拍手からは、参加された代議員の共感とともに取り組みに向けていく気持ちが感じられました。確認された運動方針のもと、自治労運動に結集し、東京清掃としても組織強化を図っていきます。

(萩原 崇氏)



▲江森副委員長の方針提案

## 3. 20さようなら原発全国集会に参加 フクシマを忘れない 原発再稼働を許さない



▲ステージの周りには多くの参加者が

福島原子力発電所の事故から13年、いまだに周辺区域には帰ることができず、避難を続けざるを得ない方々がいまもいます。原発再稼働反対の声を大きく上げるため、3月20日(水)に代々木公園にて「さようなら原発全国集会」が開催されました。東京清掃としても支部や退職者会から19名が参加しました。

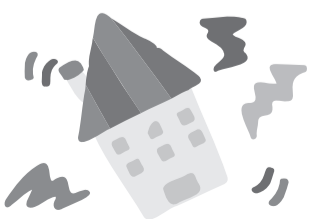
集会終了後は2コースに分かれてデモ行進が行われ、



▲各労組からも集会に結集

体がブースにてパネル展示・書籍販売・署名活動などを行い、メイン会場のステージでは主催者をはじめ、市民団体や議員の方々からそれぞれの地域における取り組みや原発再稼働反対への思いが熱く語られました。

(萩原 崇氏)



能登半島地震発生から約二月半が経過し、支援要請に基づいた23区による災害派遣が3クールをもって終了しました。

葛飾支部では、年末年始作業直後から「派遣要請はきていないのか?」「被災地支援に行くから支援体制の協議をしておけよ!」という声が多く組合執行部に寄せられていました。当たり前のようにならぬ言葉が出てくる仲間が多くなる職場であることを認識し、素晴らしいことだと改めて思いました。

通常時もそうですが、コロナ禍における作業や過去の災害派遣の際、組合員の仲間たちが活躍してきたことは間違いなく、現場対応力を持った直営職員が絶対的に必要であることを当局に認識してもらわなければなりません。

私たち葛飾支部は、当局に対し継続して直営体制を堅持するよう要求していきます。

(葛飾区担当中執 秋山 勝利)

